



生活困窮者自立相談支援事業について

高山 和義 議員

暮らしサポート 相談事業の現状

問 生活困窮者のどのような支援につながるのか。

福祉部長 複合的課題を抱える生活困窮者の経済的支援だけでなく、日常生活や社会生活の自立につながる。

問 生活保護受給者以外の生活困窮者は、全て事業の対象となるのか。

福祉部長 対象者の範囲を広く捉えている。

問 生活保護制度の抑制ではなく、つなげる事業とす必要がある。見解を伺う。

福祉部長 生活保護の申請を抑えるようなことはない。市内での学習や研修が繰り返される必要はないか。

任意事業の取り組み

問 任意事業の家計相談支援事業は他市で成果が出ている。本市も次年度から実施すべきではないか。

福祉部長 重要な事業と考えており、検討したい。

問 中学校3年生の生活困窮世帯も学習支援事業の対象となったが、高校卒業まで切れ目のない支援が必要ではないか。

福祉部長 現状の体制で中学校2年生も対象とした試験的な実施をするなど、拡大について検討している。

問 場所などの確保をどうするのか。

福祉部長 学校や公共施設での実施も検討を進める。



市議会のはてな?

議会をもっと身近に感じるための豆知識

継続審査ってなに?

議会に付議された事件は、委員会に付託して詳細な審査を行っています。

付議された事件は、会期中に限り審議することができることとされており、会期中に議決に至らなかった事件は、後会に継続しないという「会期不継続」の原則があります。

しかし、会期中に結論がでない場合もあり、このようなときには、議会の議決により、閉会中も委員会において引き続き審査することができます。

このことを「継続審査」といいます。9月定例会では、決算の認定に関する議案を継続審査することにしました。

無所属

「観光都市」を目指して

江口 友子 議員

総合公園、集客抜群 トイレ改修は早急に

問 本市で、観光客の多い観光地点を伺う。

産業振興部長 平成27年神奈川県入込観光客調査の推計では、1位が平塚市総合公園、2位が湘南ひらつか七まつり、3位がスポーツ観戦、4位が湘南平、5位がひらつか花アグリ、あさつゆ広場となっている。

問 上位の観光地点を見ると、恐らく市内在住者の利用が多い。納税者である市民に喜んでもらうことは非常に重要である。その中で、年間利用者が163万人と最も集客力のある総合公園は、トイレなどの改善要望がある。計画はあるか。

都市整備部長 トイレなど各施設について、総合公園全体の長寿命化に向けた計画はまだない。

問 近隣市の同規模の公園には、授乳スペースなども完備している。本市も早く改善できないか。

都市整備部長 昨年度、おむつ台を設置したが、「みんなのトイレ」が一つもない。早い対応をしたい。

問 湘南平には年間58万人が来る。桜の次世代育成や遊具の改善について、早急に対応すべきではないか。

都市整備部長 リニューアルを行いたい。まずは安全対策に努める。

エコでスロー馬車の活用を

問 総合公園や湘南平に派手さはないが、市民の生活に深く浸透した場所であり、これらに投資することは合理的である。また、市外の人にも来てもらうためにはオリジナルティあるものにする必要がある。そこで、既存の観光資源を生かすための方策として、馬車の活用を提案する。例えば、平塚駅南口から出発して海岸エリアを回り、花水川沿いのサイクリングロードを行う。高麗山を左手に見ながら進む馬車の旅は、本市の良さを再発見できる。また、総合公園までのルートとして、鉄道の引き込み線があった場所を選べば、近代の歴史に触れるきっかけにもなる。見解を伺う。

産業振興部長 事業の継続性が不明確であり、運行面では、交通事情や交通規制などで大きな課題がある。

問 国内の他自治体で事例がない取り組みは課題が多い。そこで、市長は海外も含めて視察をしてはどうか。

市長 貴重な提案である。検討してみたい。



イベントで馬車に乗る様子

問 部長会議の現状と庁議との違いを伺う。

企画政策部長 毎月1回開催し、全部長が出席する。庁議は、政策決定の場であり、部長会議は、部局間の連携と情報共有の場である。

問 庁議や部長会議がホームページに掲載されていない理由を伺う。

企画政策部長 未成熟な結果や情報提供の手順があるため掲載していない。

問 市政の透明化、会議の見える化への見解を伺う。

企画政策部長 手順を踏まえ、公開への検討をする。

問 中長期的な財政見通しを示すべきではないか。

企画政策部長 中長期的な財政見通しは困難である。

重要政策を事実上決定する庁議とは

端文昭 議員

問 庁議の位置付け、役割、開催頻度、出席者、情報開示の現状を伺う。

企画政策部長 「平塚市庁議に関する規程」に基づき、重要な運営方針、施策などを審議し、決定・確認して

いる。年間約20回開催し、市長、副市長、教育長、企画政策部長、総務部長で構成している。情報の開示は、「平塚市情報公開条例」により対応しており、平成27年度は3件の請求があった。

問 一般会計の28年度から31年度の投資的経費は、341億円と推計しているが、

事業とその額を伺う。また、企業会計についても伺う。

企画政策部長 一般会計では、相模小学校の移転整備に47億1千万円、ツインシティ整備に45億9千万円、新庁舎建設に31億8千万円、中央公民館の耐震補強工事に15億円、余熱利用施設の整備に10億円などを計上している。企業会計である下水道事業会計では、ツインシティの公共下水道整備に総額50億円を計上している。

問 一般会計の約31億円の財源不足をどうするのか。

企画政策部長 財政調整基金の取り崩しや臨時財政対策債の発行により対応する。

問 相模小学校の整備費が大きい。開校時期を伺う。

学校教育部長 現段階では明言できない。

問 選ばれるまち・住み続けるまちシティプロモーション市民活動と行政 防災対策

無所属議員



府川 勝 議員

インターネット中継
本会議の質問と答弁の様子を、インターネットで生中継と録画中継を行っています。各議員の質疑内容を詳しく知りたい方は市議会ホームページからアクセスしてください。録画中継は発言日のおおむね1週間後から、会議録をホームページに掲載するまでの間、ご覧いただけます。